

平成25年産水稻の8月15日現在における作柄概況（茨城県）

～ 作柄は「やや良」の見込み ～

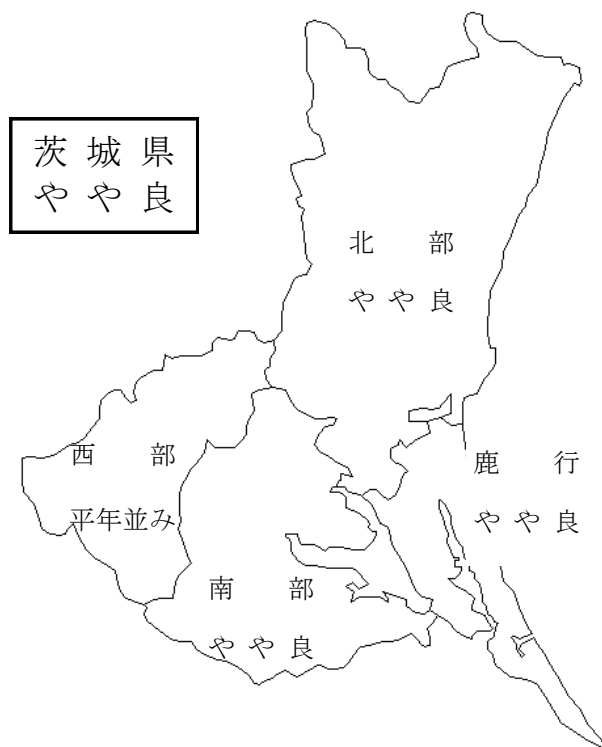
【調査結果の概要】

茨城県の平成25年産水稻の8月15日現在の作柄は「やや良」が見込まれる。

これは、幼穂形成期の天候に恵まれ全もみ数が「やや多い」と見込まれることや、出穂期以降も生育は順調に推移していると見込まれるためである。

地帯別の作柄は、北部、鹿行、南部が「やや良」、西部が「平年並み」と見込まれる。

図1 作柄表示地帯別の作柄の良否



県内における作柄表示地帯の区分

区 分	区 域
北 部	水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町
鹿 行	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
南 部	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
西 部	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

【解説】

1 田植期

田植最盛期は、3月上旬から4月上旬の気温が高く早期栽培の苗は生育が早かったものの、4月中旬から5月上旬の低温により苗の生育が抑制され、5月6日と平年並みとなった。

2 出穂（しゅつすい）期

出穂最盛期は、7月上中旬の高温多照により幼穂が急速に発育したため、7月31日と平年より3日早くなった。

3 穂数

穂数は、6月中旬の日照不足により分けつが緩慢となり少ない地域がある一方で、南部の早生種などやや多い地域もあり、総体としてバラツキが多いものの「平年並み」と見込まれる。

4 1穂当たりもみ数

1穂当たりもみ数は、幼穂形成期の7月上中旬の気温が幼穂形成に適した高温多照となったことから「やや多い」と見込まれる。

5 全もみ数

全もみ数は、穂数は平年並みが見込まれるものの、1穂当たりもみ数がやや多いと見込まれることから「やや多い」と見込まれる。

6 登熟（とうじゆく）

登熟は、出穂期以降の気温・日照時間が平年を上回っており順調に推移しているものの、全もみ数がやや多いことから千もみ当たり収量の低下が見込まれ「やや不良」と見込まれる。

以上のことから、全もみ数がやや多く、出穂期以降の生育も順調に推移していることと見込まれることから、作柄は「やや良」と見込まれる。

表1 平成25年産水稻の作柄概況（8月15日現在）

区 分	平 年 比 較				
	作柄の良否	穂数の多少	一穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
茨 城 県	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
北 部	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
鹿 行	やや良	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良
南 部	やや良	やや多い	やや多い	多い	やや不良
西 部	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み

注：1 本表で用いた作柄の良否の表示区分は、「良」が作況指数106以上、「やや良」が105～102、「平年並み」が101～99、「やや不良」が98～95、「不良」が94以下に相当する。

2 本表で「穂数の多少」、「一穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分は、「多い(良)」が対平年比106%以上、「やや多い(やや良)」が同105～102%、「平年並み」が同101～99%、「やや少ない(やや不良)」が同98～95%、「少ない(不良)」が同94%以下に相当する。

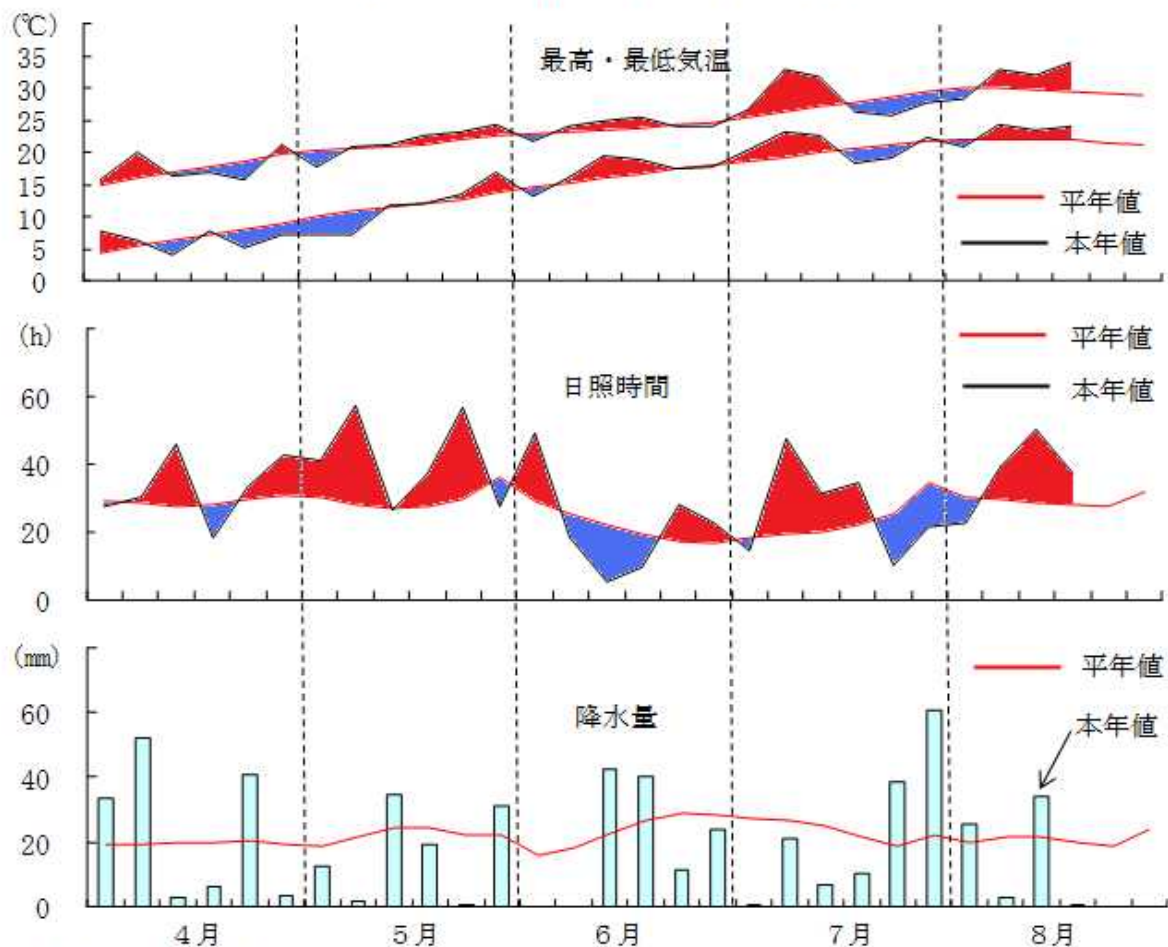
表2 平成25年産水稻の田植及び出穂の状況（8月15日現在）

区 分	田 植 期						出 穂 期						出穂済面積割合 %
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較				
				対平年	対前年				対平年	対前年			
茨 城 県	4. 29	5. 6	5. 23	1日早	1日早	7. 19	7. 31	8. 11	3日早	3日早	97		
北 部	5. 1	5. 7	5. 25	2日早	1日早	7. 22	8. 4	...	3日早	3日早	93		
鹿 行	4. 27	5. 4	5. 25	並み	1日早	7. 18	7. 30	8. 10	4日早	3日早	100		
南 部	4. 28	5. 6	5. 19	1日遅	並み	7. 15	7. 29	8. 6	2日早	1日早	99		
西 部	4. 26	5. 3	5. 25	3日早	2日早	7. 21	7. 29	8. 7	5日早	6日早	96		

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

2 出穂期の「始期」、「最盛期」及び「終期」の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示す。

図2 【平成25年 稲作期間半旬別気象(水戸)】



資料：気象庁「アメダスデータ」

水陸稲の年次別推移（茨城県）

年 産	水 陸 稲 計		水 稲			
	作付面積 (子実用)	収 穫 量 (子実用)	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	
平. 5	95,900	376,100	89,600	406	363,800	86
6	98,400	479,800	91,800	511	469,100	109
7	96,000	453,700	89,900	489	439,600	104
8	91,600	456,900	86,300	518	447,000	109
9	91,500	448,900	86,300	505	435,800	105
10	85,600	377,700	80,700	451	364,000	94
11	85,500	420,800	80,800	508	410,500	104
12	85,100	440,800	80,600	532	428,800	107
13	83,200	408,000	78,900	510	402,400	102
14	81,800	417,700	78,100	524	409,200	104
15	80,700	381,200	77,400	481	372,300	95
16	81,600	436,100	78,500	547	429,400	107
17	81,400	425,200	78,300	532	416,600	103
18	80,900	400,500	78,100	504	393,600	97
19	80,700	404,000	78,200	508	397,300	98
20	79,500	421,600	77,400	537	415,600	103
21	79,000	407,800	77,000	522	401,900	100
22	79,200	406,000	77,200	521	402,200	100
23	77,100	396,900	75,500	521	393,400	100
24	77,200	411,600	75,800	540	409,300	103

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の都道府県を対象に調査を行っている。

県内の調査対象数 作況標本筆調査：280筆 作況基準筆調査：15筆 巡回・見積り：44市町村

3 調査期日

8月15日現在で水稲の生育・作柄概況を調査した。

4 調査方法

調査は、作況標本筆、作況基準筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

5 用語の解説

- (1) 「穂数の多少」とは、1㎡当りに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (2) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (3) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (5) 前述の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較である。
- (6) 「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率である。
- (7) 「10a当たり平年収量」とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいう。

6 その他

本調査における作柄概況（8月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

- この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の「統計情報」に掲載しています。

アドレス【http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/】

お問合せ先

◎本統計調査結果について

関東農政局水戸地域センター 農政推進グループ生産流通統計チーム

電話：029 (231) 2266 内線511 FAX：029 (227) 1535

担当者：平井、原田



平成25年11月1日現在で、2013年漁業センサスを実施します。
(流通加工調査については平成26年1月1日現在)